



くすのき賞を受賞  
高司女性防火クラブ

# 〔防災事業特集〕 12年間の活動を振り返る



自治賞を受賞  
防災部長 前田 進さん



第12回総合防災訓練の場面



高司老人会の防災講習会

高司小学校区まちづくり協議会 防災部として12年前、〈自分のいのちは自分で守る〉をスローガンに0からの出発で、校区内の8自治会の自主防災会との連携は苦難の連続でした。

行政からの地域に対する防災活動の説明の無い中、まち協自体の認知度が低く、校区内の自治会との連携もスムーズにいかない状況で、久米・平石両名の尽力を得て、校区内の自主防災会との連携が可能になりました。

現在の活動は、高司・光明小学校区合同総合防災訓練、水防訓練、すきのお神社消火訓練、市防災課出前講座、介護事業所意見交換会を中心活動として地域の連携を図っています。

デジタルで情報をつかみ、アナログな助け合いで危機を乗り越え、自分のいのちを守りましょう。

防災部は、いつ来るかわからない災害時に役立つ訓練を行っています。自分のいのちを守り、家族のために訓練に参加して備えましょう。

〔防災部：前田〕



高司児童館にて  
親子防災体験講習会

R6年1月1日(月)午後4:10頃能登半島で発生した地震は広く甚大な被害が生じた。どこでも誰にでも生じる現実「日ごろの備え」という実践的な準備をしておきましょう。

## 防災訓練関係者からコメントを載しました。

西消防署南部出張所の福西と申します。平素は、消防業務に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

高司小学校区まちづくり協議会で防災部を立ち上げられ、12年間の長い年月の活動、また当初から防災部長として重責を担ってこられました前田防災部長、まことに疲れ様です。

自治会単位からコミュニティー単位へと幅広い活動や、多様な訓練を計画され、お互いに顔の見える関係を築かれ、消防職員として大変心強く感じております。

今後もこれらを継続され有事の際の「共助」が強くなることを祈念いたします。



宝塚市西消防署南部出張所  
消防司令 福西 光弘

高小校区まち協防災部の皆様の防災に対する熱意に後押しされて、「高司地区における防災に関する意見交換会」を継続して開催しています。

防災訓練にも参加させていただくことで、少しずつ福祉事業所と地域の皆様の活動との連携が深まっていることを実感しています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

小林地区包括センター  
宮田 雅美

「自分のいのちは自分で守る」を掲げて、例年、高司小学校ではまちづくり協議会を中心とする防災訓練が実施されています。地域の方を中心に「しもの災害に備える」取り組みは大切にしていきたいと思っております。

宝塚市立高司小学校  
教頭 近藤 仁美



地域の方がたくさん来られて行われた総合防災訓練では「備えて待つ」だけでなく「経験しておく」ことの大切さを感じました。

中学生にも体験、経験することで、非常時に大きく変化を及ぼすような訓練もありました。

学校での訓練にも取り入れていければと思っています。



宝塚市立高司中学校  
教頭 首藤 大典

## 高司4丁目在住【岸川 栄さん】の作品介绍(\*^-^\*)/

岸川さんは、退職後の余暇活動で、切り絵やスクラッチアートを楽しんでいます。これまでたくさんの作品を手掛けては「欲しい♡」と求める人に気前よくプレゼントされています。

ここ数年は立体的な作品にも挑戦されて、数枚重ねてカットする工程も、ずれない工夫や順番を間違えないように細かい作業が求められます。早朝の静かな時間帯に集中して取り組むことも多いそうです。(額入れや背後色は奥様も協力(^^) )

訪問時に「最初はこんな作ってた」と、30センチほどの高さの【飾り棚】を拝見。思わず「えっ！凄いい！可愛い」設計から組み立てまでされたそうです。作品をご紹介します(^^)\_旦



「飾り棚」  
最高に細かい。

今年の干支  
「龍」

3点頂いたので、  
コミ室にも飾らせて頂きます。

## 【防犯情報】自転車盗難被害多発！ 車上狙いに注意！

大切な自転車  
盗難から守ろう  
『止めたら鍵かけ。  
ツーロック』

\*被害者のうち約66%は無施錠で、被害者のうち約41%は、中学・高校・大学などの学生という調査結果でした。(兵庫県警生活安全企画課)



### 車上狙いの被害を避けるポイント4

- ① ロック必須(短時間でも！)
- ② 貴重品を置かない。(隠す)
- ③ 盗難防止機能を活用
- ④ 防犯設備が整った駐車場を使用



### ◆金融機関や宅配便を装った【偽SMSに注意】

「講座が不正利用されているので手続きを…」[お留守でしたので、荷物を持ち帰りました…連絡を…]といった偽メールが送られてきて、フィッシングサイトに誘導しようとする被害が多発しています。引っかけられないための対策を心がけよう。

- リンクを不用意に開かない。
- リンクを開いても、ID・パスワードなどは入力しない。
- サイトは公式アプリや公式サイトからアクセスする。
- 迷惑SMSブロック機能やセキュリティ対策ソフトを活用。

